

量り売り型のポップアップ店舗が府庁に出店 ～産学公連携でごみゼロ店舗の実証を10月16日から実施～

■京都府では、ごみを出さない社会を目指す「ゼロ・ウェイスト」を掲げる株式会社斗々屋が同志社大学と連携して実施する「ごみゼロ店舗※」モデルの取組に賛同し、府庁内に実証店舗を出店いただくことになりました。

■10月16日には府職員によるデモンストレーションを行いますので、取材をお願いします。

※ごみゼロ店舗： 量り売りやリユース容器の使用、食材を無駄なく活用した総菜・加工品の提供等により、容器包装ごみや食品廃棄物の発生をできる限り抑えた店舗

1 実証の概要

- (1) 日 時 令和8年10月16日（金）～11月6日（金）
- (2) 営業時間 11:30～13:30 及び 16:30～18:15 ※土日祝日を除く
- (3) 場 所 京都府庁福利厚生センター 1階ロビー
- (4) 実施主体 京都府、株式会社斗々屋、同志社大学経済学部 原田禎夫研究室

※10月16日（金）11:30 から府循環型社会推進課職員がデモンストレーションを実施します（他の日時でも取材可能です）

2 取組内容

- (1) 量り売りによる食品販売（(株)斗々屋）
個包装せずに、デジタル秤による量り売りで販売し、食品ロスや容器包装を削減する。
（販売商品の例）和食系食材（乾物）、スナック、もずく、納豆、卵、バナナ
- (2) デポジット制のリユース容器の使用（(株)斗々屋）
購入時に預り金を支払ってもらい、リユース容器の返却時に返る仕組みを導入することで、使い捨て容器を減らし、資源を繰り返し利用する。
- (3) 職員向けアンケート（同志社大学経済学部 原田禎夫研究室）
上記（1）・（2）を通し、消費者の意識変化や行動変容等を調査する。



デジタル秤での購入イメージ



ポップアップ店舗のイメージ

（次頁あり）

<参考>

○株式会社斗々屋 概要

平成 29 年よりごみを出さない「ゼロ・ウェイスト」を掲げた日本で初めてのスーパーマーケットを開業。繰り返し利用できるびんなどをお客様に持参、又はレンタルしていただき、量り売り形式で食品を販売するほか、ゼロ・ウェイストショップの開業サポートも実施している。

※ホームページ <https://totoya-zerowaste.com/>

○同志社大学原田禎夫研究室 概要

公共経済学（環境政策・地域政策）を専門とし、地域社会における行政と住民の協働による課題解決を研究。特に、プラスチックごみ問題といった課題を対象に、国内外でのフィールドワークを通じて持続可能な地域づくりの仕組みを探究。

※同志社大学 原田禎夫教授 教員紹介ページ

<https://www.econ.doshisha.ac.jp/econ/about/teacher/harada.html>

○実施場所

京都府庁福利厚生センター 1 階ロビー 休憩スペース前

(ポップアップ店舗の大きさ：幅 4 メートル×奥行 1.9 メートル)



【本報道発表に関するお問合せ】

総合政策環境部循環型社会推進課 課長
課長補佐兼係長

みずおち

水落

ながさわ

長澤

TEL 075-414-4781

TEL 075-414-4730

まゆろ

